

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 9 月 22 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部
留学(渡航)した時の学年	4 年生
帰国年月日	2025 年 8 月 17 日
明治大学卒業予定年月	2027 年 4 月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	カリフォルニア大学バークレー校(日本語名) University of California, Berkeley(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2025 年 5 月～2025 年 8 月
留学先大学で在籍した学年	1 年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8 月下旬～12 月下旬 2 学期: 1 月中旬～5 月中旬 3 学期: 5 月下旬～8 月中旬 4 学期:
学生数	45,882 人
創立年	1891 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (米ドル) (1 現地通貨 = 150 円)	B 日本円	備考
授業料	7000	円	
宿舍費	7000	円	
食費	600	円	
図書費	200	円	
学用品費	100	円	教材など
携帯・インターネット費	100	円	
現地交通費	100	円	出かける(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		75000 円	
旅費(留学中)	0	円	
被服費	50	円	
医療費	0	円	
保険費		50000 円	形態:
渡航旅費		160000 円	
ビザ申請費		50000 円	
雑費		10000 円	
その他		0 円	
その他		0 円	
合計 ※現地通貨 および 円	15100 (=2265000 円)	345000 円	
総計(A+B) ※円	2610000 円		

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：東京（成田） 目的地：サンフランシスコ 経由地：

復路 出発地：サンフランシスコ 目的地：東京（成田） 経由地：

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：ZIPAIR

料金：16 万円

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：

料金：

復路 航空会社：

料金：

∴合計：

航空券購入方法

☐ 旅行代理店（店名： ）

☒ インターネット（サイト名：ZIPAIR）

☐ その他（ ）

滞在形態関連

1) 種類（留学中の滞在先）（例：アパート、大学の宿舎等）

☒ 学生寮（寮の名前：International House） ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋（同居人数 ）

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン（☐ 自炊可 ☒ 自炊不可）

4) 住居を探した方法：

先輩の紹介

5) 感想：（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）

国際寮ということもあり、あらゆる国籍の学生が集まっていた。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

現地の情報はあまり調べていなかったが、先輩の情報から治安が悪いことは知っていた。しかし思ったよりも治安が悪く、ホームレスが多かった。トラブルに巻き込まれることはなかったが、夜にサンフランシスコを歩いていると、ホームレスに襲われそうになり怖い思いをしたので、後輩には注意してほしい。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地で利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使えない時はカフェに行った。)

WIFI が大学内と寮にあった。私は基本的に大学構内にいたので、携帯は一番安いプランを契約していた。

5) 現地で資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本のクレジットカードを使っていた。現金は友達と支払い取引以外使っていない。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

基本的に何でも手に入るので、寮が食事ができるので困ったことはなかった。カリフォルニアは暑いと聞いていたが、夏でも思ったより気温が低いため、長袖も持っていくとよい。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

クレジットカードで支払った。2 月ほど。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。	
10 単位		☒ 10 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)	
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限			
☒ 出発前 ☒ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☐ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:			
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。			
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
Marketing		マーケティング	
科目設置学部・研究科	ビジネス		
履修期間	6 週間		
単位数	3		
本学での単位認定状況	3(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 150 分が 3 回		
担当教授	Janet Brady		
授業内容	市場とマーケティングの進化や、市場構造、コストと効率、規制、そして製品・価格・プロモーション・流通といった要素を含むマーケティングプログラムの発展		
試験・課題等	中間試験、期末試験、グループプレゼンテーション、毎週のレポート		
感想を自由記入	全ての授業の中で最も負担が大きかった授業だ。私は国際日本学部なのでマーケティングの知識が浅かったが、授業内容は理解できた。アメリカの代表的な企業のマーケティング戦略を理解できて面白かった。 グループプレゼンテーションが留学中で最も大きい課題で、3 週間ほどの準備期間でとある企業のケーススタディを行う。ケースでは、特定の企業の特定のターニングポイントのシミュレーションを行い、当時の経済状況を考慮しながら企業のマーケティング戦略を考える。4 人で 20 分のプレゼンテーションを行った。		

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Leading People		リーダーシップ論
科目設置学部・研究科	ビジネス	
履修期間	6 週間	
単位数	3	
本学での単位認定状況	3(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 150 分が 3 回	
担当教授	Janet Brady	
授業内容	この授業では、行動科学の視点から組織を分析し、動機づけやリーダーシップ、士気、社会構造、集団、コミュニケーション、階層や統制など、複雑な組織が直面する問題を学んだ。また、技術・環境・人間行動の相互作用を考察し、さまざまな理論モデルを比較・検討した。	
試験・課題等	中間試験、期末試験、グループプレゼンテーション、毎週のレポート	
感想を自由記入	マーケティングと同じ教授の授業で、授業形態も似ている。こちらもケーススタディを多く用いて、あるべきリーダーシップ像について学んでいく。ディスカッションの機会が多く、授業理解度が試される。 こちらも同様にグループプレゼンテーションがあり、実際の企業にインタビューしに行き、その企業がどのような組織マネジメント文化があるのかを調査する。私たちの班はメンバーのコネクションで Amazon をインタビューし、世界トップレベルの企業に触れるいい経験ができた。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Negotiation and Conflict Resolution		交渉と対立解決
科目設置学部・研究科	ビジネス	
履修期間	6 週間	
単位数	3	
本学での単位認定状況	3(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 180 分が 3 回	
担当教授	Timothy Dayonot	
授業内容	この授業では、さまざまな場面における交渉の理論とプロセスを理解することを目的とし、マネージャーや専門職が直面する幅広い交渉の課題に対応できるように設計されている。競争的状況における個人・集団・組織の行動を分析しながら、シミュレーションやケースを通じて実践的に交渉スキルを養うことができた。	
試験・課題等	中間試験、期末試験、日々の授業内交渉	
感想を自由記入	留学の中で、私に一番いい影響を与えた授業だ。 自分の英語力とビジネス力を限界まで引き延ばす目的で、6 週間苦汁をなめる覚悟で参加した。毎講義で交渉のシミュレーションをする機会があり、授業までにその準備をするという形式だった。交渉内容は多岐にわたり、中古車や土地の売買、企業の商品利権の争奪や最もスケールの大きいピックは緊張状態にある 2 国間の貿易問題についてまで扱った。難易度はかなり高かったが、ビジネスの本質を突くような内容で、これからのキャリアでもかなり大きな影響を与えた。 交渉と聞くと、2 者間の対立をいかに自分の主張を通らせるかの課題となり、授業内で競争が生まれるような内容だと想像していた。しかし実際はその逆で、いかに協力関係を築き、お互いの利益を最大に増大し分割するという内容だった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
Berkeley Changemaker: Public Speaking		バークレーチェンジメーカー：パブリックスピーキング	
科目設置学部・研究科	リベラルアーツ		
履修期間	6 週間		
単位数	1		
本学での単位認定状況	1(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 150 分が 1 回		
担当教授	Becky Hsu		
授業内容	バークレー・チェンジメーカーの柱である「批判的思考」と「コミュニケーション」を強調し、この変動単位制(1 または 2 単位)の実習型授業は、学生が学術的なスピーキング能力を磨くことを目的としている。学生は効果的なパブリックスピーキングの技法を学び、そのスキルを実践し、口頭でのコミュニケーションに自信をつけていく。オンラインの非同期授業に加えて、インストラクターや聴衆の前でコース内容を実際に練習し、フィードバックを受けることができる「ライブ」の機会も設けられている。		
試験・課題等	パブリックスピーキングのプレゼンテーションにより評価		
感想を自由記入	オンラインだったため、パブリックスピーキングの授業としては微妙だった。プレゼンテーション力やスピーチ力を高めたかったが、オンデマンド授業であるため他者とのかわりや授業内でのスピーチがないため、期待していた緊張感を得ることはできなかった。 課題は週に一回程度のプレゼンテーション動画を提出することで、基本的な内容しか学習しないため成長した実感はない。これを履修するならほかのプレゼンテーションがある授業をとったほうがいい。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)

☐就職 ☐進学 ☒未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

特になし

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

日系国際メーカー

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の
変化等を教えてください。

UCBerkeley というネームバリューで、選考に優遇されることがあると感じる。これは外資でも日系でも同じだ。また、国際的なキャリアを志望するのであれば、より留学の経験は生きるだろう。私の周りの留学を経験した先輩は、多数が日系の国際的なメーカーに就職している。学生も企業も、あ互いの利害が一致する点が多いのだろう。駐在など海外のキャリアパスを選択したい学生はぜひ参加してほしい。

私は就職活動に悩んでいるが、一つ明確に言えることはキャリア選択の幅が広がったことだ。大学内には私たちと同じ年齢の学生が多いが、同時にキャリアを積みビジネスを学びたいという人やインターン生、教授も同じ寮に住んでおり、あらゆるキャリアを選択する人々と関わることによって私の将来像にもかなり大きな影響を与えた。
その点で、就活に生きることを目的としなくても当留学プログラムに参加することを推奨する。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	英語勉強、情報収集
	4 月 ～ 7 月	英語勉強
	8 月 ～ 9 月	募集要項公開
	10 月 ～ 12 月	学内通知
留学開始年	1 月 ～ 3 月	ガイダンス、授業料支払い、寮手配
	4 月 ～ 7 月	出発
	8 月 ～ 9 月	帰国
	10 月 ～ 12 月	
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私は過去に 1 学期のアメリカ留学と、オーストラリアのワーキングホリデーを経験したが、当留学が環境としては最も価値があると考えている。UCBerkeley 留学の魅力は、世界中から知識と技術が集まり、学生たちの学びが活発であることだ。また、International House での多国籍での生活は、本当に自分の人生と生きる世界を変える経験だった。様々な国籍、立場、考え方、経歴を持つ人々と共同生活することによって、日本人の学生としての自分を客観的に理解することができた。同時に日本の弱点にも気づき、自分なりの対処策も考えることができた。

私はこの留学先、および International House での留学を強くお勧めしたい。あらゆる国から私たちのように派遣留学生が集まるため、友達を作ることは非常に用意だ。そして授業のレベルも自分たちよりも高く、自分の限界を引き延ばすことができる。交通の便が弱く、町が小さいのでそこまで自由度は高くないが、大学、寮内で最高の経験をするための環境が整えられている。本当に強くこの留学先をお勧めしたい。